記者発表資料

令和 8 年 11 月 10 日
（一財）3.11 伝承ロード推進機構

「3.11 伝承ロード」・「写真で見る復興の歩み」パネル展の開催について

テーマ：「教訓が、いのちを救う。」

東日本大震災から 15 年が経過しました。東日本大震災の記憶や経験を忘れずに後世に伝承するため、東日本大震災の実情と教訓等をパネルにより紹介するパネル展を開催します。

また、被災地の被災前、被災直後、復興 10 年の状況について写真パネルにより紹介します。

※「3.11 伝承ロード」とは、東日本大震災の教訓を学ぶため、震災伝承施設のネットワークを活用して、防災に関する様々な取組や事業を行う活動です。その活動によって、防災に関する知識や意識を向上させるとともに、多くの人々との交流を促し、災害に強い社会の形成と地域の活性化に繋げるものです。

また、「3.11 伝承ロード」の取組は、令和 6 年度、ＮＩＰＰＯＮ防災資産の「優良認定」に選定されました。

■パネル展等の内容

1）パネル展

・教訓伝承の取組

・東日本大震災の対応など（協力：東北地方整備局）

・被災前・被災直後・復興 10 年の航空写真（宮古市田老、気仙沼市、北上川河口、相馬港等）
（協力：（一社）東北地域づくり協会）

■会場　　あ・ら・伊達な道の駅　スパイラルホール内
〒989－6405　大崎市岩出山池月字下宮道下 4-1

■期間　　令和 8 年 11 月 17 日（火）~令和 8 年 11 月 24 日（火）

■時間　　9:00 - 17:30
（11 月 17 日は 14:00 から。11 月 24 日は 13:00 まで。）

■主催　　（一財）3.11 伝承ロード推進機構

■協力　　東北地方整備局、（一社）東北地域づくり協会、あ・ら・伊達な道の駅

■その他　　感染拡大防止対策については、十分なご配慮とご協力をお願いします。

《発表記者会　宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会》

問 合 せ 先
一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 2－26 事業部長　遠藤　明　　ＴＥＬ022-393-4261

展示パネルの例


教訓が、
いのちを
救う。
備えることで救える“いのち”が
あることを知ってもらう！
学ぶことで助かる“いのち”が
あることを知ってもらう！
一般財団法人3.11伝承ロード推進機構


我々が伝えたい
基本メッセージ
備えることで救える
“いのち”が
あったという事実
2度の津波被害を受けて整備された巨大堤防
(高さ10m、長さ2,600m)が
町民の死亡率を大幅に激減させた田老村
明治三陸地震(明治29年)
345戸が一軒残らず流され、
人口2,248人のうち
死者・行方不明者は1,867人
死亡率
83%
三陸沖地震(昭和8年)
559戸中500戸が流失、
人口2,773人のうち
死者・行方不明者は911人
死亡率
33%
東日本大震災(平成23年)
1,467棟中、全壊は979棟
人口4,302人のうち
死者・行方不明者は166人
死亡率
4%
一般財団法人3.11伝承ロード推進機構


地震によって異なる様相
1995年に発生した「阪神・淡路大震災」は、人口密集地域の建物・構築などが倒壊、2004年に発生した「新潟県中越地震」では山間部の斜面崩壊による地域の分断孤立が特徴的でした。これに対し東日本大震災では、大津波が沿岸部に壊滅的被害を与える『津波型』の災害です。破壊的な力を持つ津波が街を襲い、大量のガレキを堆積させました。このように、これまで発生した日本の地震災害は、その様相が大きく異なります。
東日本大震災は
津波型災害。
[阪神・淡路大震災]
[新潟県中越地震]
[東日本大震災]
岩手県釜石市
宮城県多賀城市


宮城県 気仙沼市 被災前・被災後・10年後
Miyagi Prefecture Kesennuma City Before, Soon After, and Ten Years After the Tsunami.
被災前
2004年5月撮影 Before the 3.11 Disaster May 2004
被災後
2011年3月撮影 Soon After the 3.11 Disaster March 2011
10年後
2020年10月14日撮影 Ten Years After the 3.11 Disaster October 14, 2020